

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	音楽振興事業						担当部	教育委員会事務局		
	会計区分	一般会計			事業類型	一般		担当課	文化振興課		
	事業期間	平成14年度			～	平成30年度以降		担当係	文化振興係		
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		20 文化・芸術		副目的				
	予算区分	款	10	項	5	目	5	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	小牧市文化振興ビジョン									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	音楽講座等を通して、音楽の歴史・時代背景・地域性・楽器等について学ぶことにより、市民の音楽への関心を高めるとともに、音楽鑑賞の幅を広げ音楽愛好者の拡大を図る。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容・直接経費の内訳</p> <p>○音楽鑑賞講座(委託料:3,900千円) 名古屋芸術大学と連携して、生演奏とレクチャー形式の5回の講座を実施し、幅広いジャンルの音楽をあらゆる角度から解説を交えながら演奏を楽しむ内容とした。また、中部フィルハーモニー交響楽団の企画・運営により指揮者が講師を務めるクラシック鑑賞講座を提供した。</p> <p>○サンデーコンサート(講師謝礼、印刷製本費、役務費:967千円) 市民団体(ボルタメント小牧)との協働により各市民センターで年5回のサンデーコンサートを実施した。毎月第1日曜日の昼に味岡市民センターロビーを利用したふれあい音楽広場を実施した。職員は、出演者との日程、曲目、演奏順等を調整するとともに機材の配置、転換、照明、音響等について舞台技術者と調整、チラシ作成、事前PR、コンサート当日の運営を実施。</p> <p>○オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:25,933千円) 小学校8校、中学校3校に対して本格的なオーケストラによるコンサートを学校で行い、クラシックを身近に感じ音楽への関心を高めた。職員は、学校からの日程・演奏曲目等の要望をとりまとめ、中部フィルと演奏会に向けて調整した。また、幼稚園11園、保育園19園を対象に中部フィルハーモニー交響楽団によるアンサンブル演奏を提供した。</p> <p>○音楽指導(委託料:6,796千円) 市内小中学校・高等学校へ中部フィルハーモニー交響楽団の楽団員・指揮者を派遣し技術指導を実施した。</p> <p>○若手演奏家育成事業(委託料:5,000千円) 小中高生を対象にピアノとヴァイオリンの部門で19名の応募があり、1次・2次審査の通過者4名が本審査で中部フィルハーモニー交響楽団と共演した。</p> <p>○消耗品費等(29千円)</p> <p>○中部フィルハーモニー交響楽団支援会員会費(負担金:3,000千円)</p> <p>◆25年度実施内容・直接経費の内訳</p> <p>3年のローテーションで実施していた音楽活動促進事業の第九は見直し、周年事業とする。</p> <p>・音楽鑑賞講座(委託料:3,900千円) ・サンデーコンサート(講師謝礼、印刷製本費、役務費:1,352千円) ・オーケストラ演奏鑑賞事業(委託料:25,933千円)</p> <p>・音楽指導(委託料:6,800千円) ・業務用備品購入費(650千円)</p> <p>・消耗品費等(30千円)</p> <p>・中部フィルハーモニー交響楽団支援会員会費(負担金:3,000千円)</p>									
	受益者負担	有 音楽鑑賞講座(5回)大人3,000円・小中学生1,500円/1回のみ大人1,000円・小中学生500円 クラシック鑑賞講座(4回)大人2,000円・小中学生1,000円/4回目のみ大人1,000円・小中学生500円									

コスト	費用	項目	単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額
			直接経費	千円	44,773	47,389	45,626
正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20	
		人件費	千円	1,066	1,066	1,066	1,066
	その他職員	従事者数	人	1.00	1.00	1.00	1.00
		人件費	千円	2,379	2,379	2,563	2,572
費用合計		千円	48,218	50,834	49,255	45,303	
対前年比		%		105.4	96.8	91.9	
財源	一般財源		千円	46,531	49,340	47,754	43,803
	国・県支出金		千円	0	0	0	0
	その他財源		千円	1,687	1,494	1,501	1,500

業	活動指標名	単位	H22	H23	H24	H25
	音楽鑑賞講座	回	目標	6	6	5
実績			6	5	9	
音楽指導申込学校数	校	目標	—	—	—	—
		実績	26	26	24	
派遣楽団員・指揮者数	人	目標	—	—	—	—
		実績	318	375	396	
績	成果指標名	単位	H22	H23	H24	H25
	音楽鑑賞講座受講者数	人	目標	400	400	300
実績			262	215	296	
サンデーコンサート来場者数	人	目標	1,500	1,500	1,400	1,200
		実績	1,202	1,284	1,047	

事業の自己評価	平成24年度の達成状況	全5回の音楽鑑賞講座と全4回のクラシック鑑賞講座を実施し、延べ1,441名の受講者があった。生の本格的な演奏と大学教授や指揮者によるレクチャーは、他では体験できない講座である。サンデーコンサートは、多様な内容の企画により定着してきているが、来場者は目標を達成できなかった。オーケストラ演奏鑑賞事業は、小牧市の特長のひとつとなっており、学校で生の演奏を聴くよい機会となった。また、部活動や音楽授業における音楽指導事業により小中学生・高校生のレベルアップが図れた。	
	事業実施における課題	音楽鑑賞講座は講座としてではなくコンサートとしての要素が強いため、実施の方法に工夫が必要であり、クラシック鑑賞講座は、受講生によりわかりやすく伝えるような工夫が必要である。サンデーコンサートは、ポルタメント小牧の活動がより主体的な発展につながるよう支援していく。オーケストラ演奏鑑賞事業及び音楽指導は、学校との調整が必要であるが、理解と協力を得ながら連携して事業を推進していく。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	音楽の歴史や背景を知ったうえで、生の本格的な音楽を聴くよい機会が失われるほか、演奏家同士の交流や地域との交流が停滞するほか、市民に対しても無料で気軽に楽しむ機会がなくなる。さらに、身近でプロの本格的な生の演奏を聴く機会を失う。音楽指導は、子どもたちの音楽に対する高度な指導が果せなくなる。	
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	3年のローテーションで実施していた音楽活動(①若手演奏家育成事業②第九演奏会③アマチュア演奏家合同演奏会)のうち平成25年度は第九演奏会の年であったが、見直しをかけ周年事業とすることとした。
平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	音楽鑑賞講座は、単なるコンサートで終わらせず、受講生が音楽の魅力を理解し知識を蓄え、継続的に音楽に触れられるような仕組みづくりをする必要がある。サンデーコンサートは、市とポルタメント小牧が協働し手づくりのコンサートを改善しながら更なる集客に努め実施していくことが望ましい。オーケストラ演奏鑑賞事業及び音楽指導は、学校と調整しながら変化を持たせ、より効果的に事業を推進していく必要がある。	
	26年度以降の改善案	音楽鑑賞講座のPRを充実させ、1回ずつの講座としての価値を高める方法を検討し、総受講者数の増加を図る。サンデーコンサートは、ポルタメント小牧の会員を増やししながら、市民ニーズに対応し幅広いジャンルの音楽の提供をめざす。オーケストラ演奏鑑賞事業は、子どもの頃からクラシック音楽に親しみ、音楽に興味を持てるよう工夫する。音楽指導は、学校の指導希望日との調整が困難だが、小中学生・高校生の音楽に対する関心をさらに深める。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	本事業は、本市に本拠を置く中部フィルハーモニー交響楽団と連携して、子どもから大人まで幅広い年代の市民に本格的な音楽演奏を提供する本市の特色ある事業といえる。しかし、現状では多額の事業費を投入している一方で、市民の音楽への関心を高める、音楽の愛好家の拡大を図るといった事業目的の達成状況が不明確であり、市として事業の実施による成果を明確に把握していく必要がある。そのため、今後は、事業を継続しながらも、費用に対して参加者数は十分か、参加者が固定化している事業になっていないか、受益者負担は適正か等についてより詳細に検証し、事業目的の達成に向けて効果の低い小事業については、廃止を含めて見直すなど事業の取捨選択に向けた検討が必要である。